

---

# 理由なんていらなのかな

那音

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

理由なんていらなのかな

### 【コード】

N0305R

### 【作者名】

那音

### 【あらすじ】

大好きな人の言う事に、理由なんていらなのかな。

(前書き)

どうぞ。

すとおみみずみです。

よろしくお願ひします。

急に春風が吹いて、私の長い髪を優しく撫でた。隣を歩くヒロも一瞬寒そうに震えたけど、ごまかすように会話を続けた。

「だから、ほんとに好きならどんな事でも出来るはずなんだよ。何ができないって事はその一つの事を本気で想ってないって証拠だ」そんなふうを決めつけられると、ついついムキになって、

「違う！！ 違うよ、私はほんとにかずくんが好きだもん。だけど、やっぱり納得できる理由がないとやだもん。理由さえあれば何でもしてあげるもん」

「じゃあおまえは、和人が”死ね”っていったら死ぬるのかよ」

「だから、理由が」

「じゃあ、おまえか和人、どっちかが死ななければならぬ運命だったら？」

「それだったら、かずくんは私に死ねとはいわずに、自分が死ぬことを選ぶよ」

「根拠は？」

「かずくんだから」

「何だそれ。いいか、和人だって人間なんだから、死にたくはないよ。おまえが死んで和人が助かるんなら、和人はおまえに死んでほしいに決まってる」

「かずくんは、絶っつつつ対にそんな事言わないもん！！」

「何で？」

「かずくんだから」

「よし、わかった。おまえは無限ループを作って、どうにかして俺を論破したいんだな」

「違うよ。ヒロが変な質問するからでしょー！！ 私はほんとにかずくんが好きなの！！」

「だったら、理由なんていらないだろ？」

「いるよ」

「何で？」

私は言い返そうと思ったけど、それこそヒロが言ったとおり無限ループになりそうだからやめた。

私が黙っていると、

「はい、俺の勝ち」

ヒロがおどけた。

「これで俺の8勝0敗」

私が悔しそうにうつむくと、

「もう止めるよ、ヒロ。かおり、ありがとう」

私とヒロの会話を終始照れながら聞いていたかずくんが言った。

(後書き)

読んでいただきありがとうございます。

この作品はプロットをたてずに、終わり方だけを考えてアドリブで書きました。

よって大変な駄作でした。

それでもこのページを読んでいただいているあなたに心から感謝を。感想、アドバイス等お待ちしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0305r/>

---

理由なんていないのかな

2011年10月8日17時33分発行